

日本図書館情報学会会報

No. 175

2019年6月

日本図書館情報学会事務局

〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘 1-25

白百合女子大学 今井福司研究室内

(事務局業務に関する問合せ先)

(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ホームページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

定例（通信）総会の実施にあたって

会長 小田 光宏

2019年度の定例（通信）総会を実施いたします。提案する議案は四つで、学会運営の基本となる事業及び会計に関するものとなります。この数年間、事業及び会計に加えて、規約の一部改正、選挙管理運営規程の改正、会費改定に関する諸議案をご審議いただきました。本年度は、そうした議案はありません。その意味では、学会運営の仕組みが安定しつつあると理解することができますが、一方、本年度は、昨年度の総会でご承認いただいた会費改定に基づく運営を行う最初となります。それゆえ、これまでも増して、各議案に関して、慎重なご審議をお願い申し上げます。

また、常任理事会ならびに理事会では、監事から示される監査結果と意見を、会員にどのように示せばよいか、検討を重ねて参りました。その結果、事業に対する監査報告が、議案において明確にされていないことを改善すべきとの認識に至りました。そこで、第一号議案を2018年度の事業報告・事業監査報告、第二号議案を2018年度の決算報告・会計監査報告と題し、監査報告をそれぞれの議案に位置付けることといたしました。なお、監事からは、監査報告とは別にご意見が寄せられましたので、議案とは別に、本会報に後掲いたしますので、ご覧ください。

第三号議案と第四号議案は、2019年度の事業計画案と、それを実施するための予算案となります。根幹となる事業や活動の趣旨は、2018年度と比べて根本的な変更はありません。しかし、改訂された会費に基づく収入の増加を有効に活用し、既存事業のいっそうの充実を図るとともに、新たな取り組みを始めています。具体的には、研究の活性化を促すことを目指した事業を中心にしたものとなります。学生会員を対象にした、研究集会での研究発表に対する交通費補助は、その一つとなります。また、研究助成の枠も、拡張しています。

以上、定例（通信）総会を実施するにあたり、会長として提案の概要を記しました。会員のみならず、それぞれの議案をご精査いただきますよう、お願い申し上げます。また、本学会の運営に対して、忌憚のないご意見ならびにご助言をたまわれれば幸いに存じます。

2019年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 小田 光宏

2019年度定例（通信）総会として、以下の議案の可否につきまして、電子投票または投票用紙（着払いはがき）のいずれかの方法にて投票をお願いいたします。投票方法の詳細については、同封の案内をご覧ください。なお、総会は正会員によって構成されるため、名誉会員、学生会員、団体会員、賛助会員の皆様には、案内は同封しておりません。

投票期日： 2019年6月30日(日)（郵送は当日消印有効，電子投票は23:59 まで有効）

議 題： 第一号議案 2018 年度事業報告・事業監査報告

第二号議案 2018 年度決算報告・会計監査報告

第三号議案 2019 年度事業計画案

第四号議案 2019 年度予算案

第一号議案 2018 年度事業報告・事業監査報告

1. 運営事業

(1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を2018年6月末日として定例（通信）総会を実施し、有権者数681に対し、投票総数326、有効投票数326であった。投票の結果、全議案は成立した。投票は郵送及び電子投票によった。

(2) 理事会・常任理事会の開催

会務執行のため、下記のように開催した。

1) 理事会

第1回 2018年5月13日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2018年10月21日（土） 明治大学（東京都千代田区）

2) 常任理事会

第1回 2018年4月21日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2018年7月8日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第3回 2018年9月30日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第4回 2018年11月25日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第5回 2019年1月13日（日） 明治大学（東京都千代田区）

(3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2018年11月4日（日）に琉球大学（沖縄県中頭郡西原町）を会場として会員集会を開催した。

(4) 会費改定の決定

学会の財政状況の改善ならびに図書館情報学の発展に資する事業整備・充実のため、2019年度からの会費改定を決定した。

(5) 規程・内規等の改正・整備

優秀発表奨励賞の開始に伴い、表彰内規を改正した。また日本図書館情報学会入会金・会費規程を改正した。内規等に関する整備を進めた。

(6) 委員会の開催

下記の委員会日程の他、各委員会ともメールによる審議・協議を随時行った。

1) 学会賞選考委員会

第1回	2018年7月23日(月)	慶應義塾大学(東京都港区)
第2回	2018年8月8日(水)	慶應義塾大学(東京都港区)
第3回	2018年9月18日(火)	慶應義塾大学(東京都港区)

2) 編集委員会

第1回	2018年6月17日(日)	専修大学(東京都千代田区)
-----	---------------	---------------

3) 研究委員会

第1回	2018年5月26日(土)	明治大学(東京都千代田区)
第2回	2019年1月12日(土)	明治大学(東京都千代田区)

4) 総務委員会

2018年度は、会合を開かず、メールによる協議・審議のみを行った。

5) J-STAGE 運営ワーキンググループ

2018年度は、会合を開かず、メールによる協議・審議のみを行った。

6) 学会国際化事業ワーキンググループ

第1回	2018年7月11日(水)	京都ノートルダム女子大学(京都府京都市)
第2回	2018年9月5日(水)	京都ノートルダム女子大学(京都府京都市)

7) 『図書館情報学用語辞典』第5版編集委員会

第1回	2018年9月8日(土)	明治大学(東京都千代田区)
第2回	2018年11月30日(金)	明治大学(東京都千代田区)
第3回	2019年1月22日(火)	明治大学(東京都千代田区)
第4回	2019年3月8日(金)	明治大学(東京都千代田区)

8) 図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ

第1回	2019年1月30日(水)	明治大学(東京都千代田区)
-----	---------------	---------------

(7) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

2019年3月9日(土)に明治大学和泉図書館ホール(東京都杉並区)にて、「図書館情報学教育の現状とこれから」をテーマに、明治大学図書館、東京ドイツ文化センターとの共催でシンポジウムを開催した。参加者は61名であった。

(8) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.169(2018年4月)、No.170(同年6月)、No.171(同年10月)、No.172(2019年2月)、No.173(2019年3月、臨時号)を発行した(印刷版郵送・PDF版メール配信)。

(9) 学会広報の推進

学会サイトの管理・更新(会報・メールマガジンの掲載を含む)、メールマガジンの発行などを進めた。

(10) 事務局業務の一部委託

会員管理、会費管理、発送業務等、事務局業務の一部を株式会社ガリレオに委託した。

(11) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、個人会員を対象にその功績が顕著であると認められる者の検討を行ったが、該当者なしとなった。

(12) 選挙管理システムの検討

現行システムのサポート終了により、セキュリティの観点から問題となる可能性があるため、代替となるシステムを検討した。

2. 研究促進事業

(1) 第 66 回研究大会の開催

第 66 回日本図書館情報学会研究大会を 2018 年 11 月 3 日（土）、4 日（日）に琉球大学（沖縄県中頭郡西原町）にて開催した。研究発表は 22 件、ポスター発表 10 件（申請 11 件、辞退 1 件）で、参加者は 114 名であった。

(2) 研究大会におけるシンポジウム開催

第 66 回研究大会 2 日目午後、「図書館情報学における歴史研究の今とこれから」をテーマに、一般公開によるシンポジウムを開催した。参加者は 68 名であった。

(3) 2018 年度春季研究集会の開催

2018 年度春季研究集会を 2018 年 5 月 12 日（土）に早稲田大学（東京都新宿区）にて開催した。研究発表は 27 件（申請 29 件、辞退 2 件）で、参加者は 180 名であった。

(4) 研究助成の募集・交付

- ・ 研究助成の募集を行い、審議の結果、以下の 1 件に対して研究助成を行った。
川瀬直人（国立国会図書館）「オーラルヒストリーによる機関リポジトリ史」
- ・ 2015 年度に研究助成を交付した者については、研究助成の要件を満たしているかどうかを調査し、満たしていることを確認した。

3. 刊行事業

(1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第 64 巻第 2 号（2018 年 6 月）、同第 3 号（同年 9 月）、同第 4 号（同年 12 月）、第 65 巻第 1 号（2019 年 3 月）を発行した。

(2) J-STAGE による『日本図書館情報学会誌』の提供

- ・ 『日本図書館情報学会誌』について、編集委員会が事務局と協力して、J-STAGE を通じて提供した。
- ・ 『日本図書館情報学会誌』（1999 年～2017 年）および『図書館学会年報』（1997 年～1998 年）のオープンアクセスでの提供を行った。

(3) 「わかる！図書館情報学」シリーズの編集・刊行

第 5 巻『公共図書館運営の新たな動向』の編集を進め、刊行した。

(4) 『図書館情報学用語辞典』第 5 版の編纂

『図書館情報学用語辞典』第 5 版刊行について編集委員会を組織し、刊行に向けての項目執筆の公募を開始した。

(5) 中項目主義の専門事典刊行の検討

丸善出版と会合を行った結果に基づき、刊行に向けた準備を行うことを決定した。

4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

表彰内規に基づき、日本図書館情報学会学会賞、論文賞、奨励賞の選考を行い以下の者に授与した。

1) 学会賞

- ・ 小泉公乃 *Inherent Strategies in Library Management*. Chandos Publishing, 2017, 223p.
- ・ 酒井由紀子 『健康医学情報の伝達におけるリーダビリティ』 樹村房, 2018, 242p.

2) 論文賞

浅石卓真「中学・高校の理科教科書における知識の潜在的規模：テキストからの語彙量推定に基づく分析」『日本図書館情報学会誌』第63巻第3号（2017年9月），p.123-140.

3) 奨励賞

該当なし

(2) 優秀発表賞の選考・授与

2018年度春季研究集会、第66回研究大会における口頭発表について、研究内容・発表技法という観点から優秀発表賞（第66回研究大会から優秀発表奨励賞）の選考を実施した。審査の結果、以下の通りとした。

- ・ 2018年度春季研究集会

該当なし

- ・ 第66回研究大会

該当なし

5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進め、後援依頼への対応を行った。

(2) 国際的研究活動の支援

図書館情報学関連の国際会議情報等を、学会のメールマガジンに掲載した。

(3) 学会国際化のための条件整備

学会国際化のために、学会ウェブサイトの英語版再整備、学会誌の「投稿規程」の英語版の整備を行った。また、海外からの後援申込みについて書式整備を進めた。

事業監査報告

事業監査の結果、学会活動が適正に運営され、活動計画が適切に行われていることを報告します。

2019年5月3日 監事 薬袋 秀樹

2019年5月3日 監事 渡辺 信一

第二号議案 2018年度決算報告・会計監査報告

1. 2018年度決算報告

(収入の部)

項目	予算(円)	実績(円)	達成率	備考
1 会費				
正会員	3,720,000	3,320,500	89.3%	5,000円×郵便振替542件+5000円×銀行振り込み2件+5,000円×クレジット決済115件+6,500円×海外居住者銀行振込2件+6,500円×海外会員クレジット決済1件+3,000円×過払金2件
学生会員	128,000	114,000	89.1%	2,000円×郵便振替41件+2,000円×クレジット決済16件
団体会員	615,000	630,000	102.4%	15,000円×42件
賛助会員	100,000	100,000	100.0%	50,000円×2件
入会金	—	36,000		1,000円×郵便振替27件+1,000円×クレジット決済9件
2 広告料	339,000	307,000	90.6%	30,000円×3件, 25,000円×5件, 23,000円×4件
3 学会誌売上金	1,560,300	1,514,100	97.0%	721冊×2,100円
4 印税	239,000	298,108	124.7%	図書館情報学用語辞典第4版印税(130,180円), わかるシリーズ第1巻印税(14,870円), わかるシリーズ第2巻印税(12,769円), わかるシリーズ第3巻印税(22,466円), わかるシリーズ第4巻(117,823円)
5 春季研究集会収入	229,000	356,000	155.5%	参加費(354,000円), 発表論文集追加頒布(2,000円)
6 雑収入	20,100	71,758	357.0%	利息(11円), 研究大会開催校寄附金(22,767円), 事務局による誤振込返金(26,740円), 発表論文集後日発送分(22,240円)
7 前年度繰越金	4,260,978	4,260,978		
合計	11,211,378	11,008,444	98.2%	

(支出の部)

項目	予算(円)	実績(円)	進捗率	備考
1 運営事業費				
理事会・常任理事会 開催費	981,100	528,480	53.9%	常任理事会日当(82,000円), 交通費(223,640円), 宿泊費(18,180円) 理事会日当(48,000円), 交通費(138,260円), 宿泊費(22,400円) ただし, 理事会日当辞退(4,000円)除く

会計監査実施費	36,060	36,500	101.2%	日当(6,000円), 交通費(30,500円)
委員会開催費 研究委員会	104,420	93,570	89.6%	日当(32,000円), 交通費(60,570円), 通信費(1,000円)
編集委員会	215,460	117,744	54.6%	日当(14,000円), 交通費(83,514円), 通信費(6,230円), 非会員査読謝礼(14,000円)
学会賞選考委員会	41,000	22,000	53.7%	日当(22,000円)
総務委員会	41,900	9,051	21.6%	学会ドメイン(3,909円), サーバーレンタル代金(5,142円)
図書館情報学教育に資 する事業WG	50,000	36,000	72.0%	日当(6,000円), 非会員パネリスト謝礼(30,000円)
学会国際化事業WG	16,000	8,000	50.0%	日当(8,000円)
用語辞典編集委員会	64,000	117,850	184.1%	日当(40,000円), 交通費(77,850円)
会報発行費	704,000	736,477	104.6%	会報印刷費(324,000円, うち No. 169 が 47,520円, No. 170(総会投票用紙含む)が 130,680円, No. 171 が 50,760円, No. 172 が 47,520円, No. 173 臨時号が 47,520円), 封筒作成費(55,080円), 発送業務委託費(89,830円), 通信費(267,567円)
事務局運営費	1,502,960	1,312,534	87.3%	事務局運営業務委託費(987,481円), 会費クレジット決済トランザクション手数料(25,580円), 封筒作成業務委託費(2,707円), 文書印刷業務委託費(104,425円), 発送業務委託費(3,078円), 会費クレジットキャンセル返金(4,827円), アルバイト代(28,800円), アルバイト交通費(5,040円), 振込手数料(17,355円), 通信費(36,800円), 研究大会会場校挨拶日当(2,000円), 研究大会会場校挨拶交通・宿泊費(50,828円), 消耗品費(パンチファイル(2,138円), ICレコーダー(7,935円))

				会場校挨拶手土産(4,800 円), 事務局誤振込(26,740 円), 委員会日当過払い(2,000 円)
2 研究促進事業費				
研究大会開催費	300,000	100,000	33.3%	案内発送費(100,000 円)
研究大会シンポジウム開催費	83,000	41,188	49.6%	パネリスト日当(14,000 円), 交通費(27,188 円)
春季研究集会開催費	423,000	481,511	113.8%	人件費(146,300 円), 印刷費(175,089 円), 会議費(18,190 円), 消耗品費(4,636 円), 郵便費(4,780 円), 会場費(78,516 円), 機器使用料(54,000 円)含む
研究助成費	300,000	275,000	91.7%	研究助成 1 件
3 刊行事業費				
学会誌発行費	2,844,868	2,264,256	79.6%	学会誌印刷費(1,689,515 円: 64 巻 1 号(66 頁)が 404,015 円, 64 巻 2 号(32 頁)が 195,886 円, 64 巻 3 号(70 頁)が 428,500 円, 64 巻 4 号(34 頁)が 208,128 円, 65 巻 1 号(74 頁)が 452,986 円), J-STAGE 搭載業務委託費(97,200 円), 発送業務委託費(195,295 円: 視覚障害者向け PDF メール送信費用含む), 通信費(282,246 円)
4 表彰事業費				
学会賞等副賞・賞状作成費	218,000	267,406	122.7%	副賞(250,000 円, うち学会賞 2 件 200,000 円, 論文賞 1 件 50,000 円)賞状作成費(16,500 円), のし袋代金(906 円)
5 予備費	3,285,610	35,590	1.1%	わかる! シリーズ非会員謝礼図書カードとして(10,000 円×2 件), 選挙システム検討のための選挙管理運営委員会日当(12,000 円), 交通費(1,590 円)
合計	7,925,768	6,483,157		
次年度繰越金		4,525,287		

会計監査報告

会計監査の結果、予算に基づき、会計が適正に執行され、支払いが適正に処理され、決算報告書が適正に作成されていることを報告します。

2019 年 5 月 3 日 監事 薬袋 秀樹

2019 年 5 月 3 日 監事 渡辺 信一

第三号議案 2019年度事業計画案

1. 運営事業

(1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を2019年6月末日として定例（通信）総会を実施する。投票は電子または郵送による。

(2) 理事会・常任理事会の開催

下記の予定で、理事会・常任理事会を開催する。

1) 理事会

第1回 2019年5月12日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2019年9月29日（日） 明治大学（東京都千代田区）

2) 常任理事会

第1回 2019年4月21日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2019年7月7日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第3回 2019年9月22日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第4回 2019年11月17日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第5回 2020年1月12日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第6回 2020年3月8日（日） 明治大学（東京都千代田区）

※第6回は次期常任理事との合同

(3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2019年10月20日（日）に龍谷大学大宮キャンパス（京都府京都市）を会場として会員集会を開催する。

(4) 規程・内規等の改正・整備

規程・内規等に関する整備を進める。

(5) 委員会の開催

下記の予定で、委員会・ワーキンググループを開催する。適宜メールによる審議・協議を行う。

1) 学会賞選考委員会 4回

2) 編集委員会 1回

3) 研究委員会 2回

4) 総務委員会 1回

5) 学会国際化事業ワーキンググループ 2回

6) 『図書館情報学用語辞典』第5版編集委員会 メールによる審議・協議のみ

7) 『図書館情報学事典』（仮称）編集準備幹事会（WG） 4回

8) 選挙管理運営委員会 4回

(7) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

図書館情報学教育の現状に関するシンポジウムを開催する。

(8) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.174（2019年4月）、No.175（同年6月）、No.176（同年10月）、No.177（2020年2月）を発行する（印刷版郵送・PDF版メール配信）。

(9) 学会広報の推進

学会サイトの管理・更新（会報・メールマガジンの掲載を含む）、メールマガジンの発行などを進める。

(10) 事務局業務の一部委託

会員管理、会費管理、発送業務等、事務局業務の一部を2018年度に引き続き、株式会社ガリレオに委託する。また、役員選挙の電子投票システムを株式会社ガリレオに委託する。また、定例（通信）総会の電子投票システムの株式会社ガリレオへの委託を検討する。

(11) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる個人会員に、感謝状を贈呈する。

(12) 役員選挙の実施

2020-2022年度の役員選出のための選挙を実施する。

2. 研究促進事業

(1) 第67回研究大会の開催

第67回日本図書館情報学会研究大会を2019年10月19日（土）、20日（日）に龍谷大学大宮キャンパス（京都府京都市）にて開催する。口頭発表に加えてポスター発表を実施する。

(2) 研究大会におけるシンポジウム開催

第67回研究大会2日目午後、「デジタルアーカイブと図書館」（仮称）のテーマでシンポジウムを一般公開で開催する。

(3) 2019年度春季研究集会の開催

2019年度春季研究集会を2019年6月8日（土）に帝京大学八王子キャンパス（東京都八王子市）にて開催する。

(4) 研究助成の募集・交付

図書館情報学振興のために、会員が個人として計画した研究に対し、研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。

(5) 研究発表、研究交流促進のための助成

研究発表促進のために、春季研究集会または研究大会において筆頭発表者として研究発表（口頭、ポスター）を行う学生会員に対して交通費の一部補助を行う。

3. 刊行事業

(1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第65巻第2号（2019年6月）、同第3号（同年9月）、同第4号（同年12月）、第66巻第1号（2020年3月）を発行する（視覚障害会員向けPDF版はメール配信）。

(2) J-STAGEによる『日本図書館情報学会誌』の提供

『日本図書館情報学会誌』電子版について、編集委員会が事務局担当補佐と協力して、2018年度に引き続きJ-STAGEを通じて提供する。

(3) 『図書館情報学用語辞典』第5版の編集

『図書館情報学用語辞典』第5版について、2020年秋の刊行を目指して、用語の見直し、新規用語の執筆依頼・編集を進める。

(4) 『図書館情報学事典』（仮称）刊行に向けた準備

中項目主義の専門事典として『図書館情報学事典』（仮称）の刊行を目指すため、編集準備幹事会（WG）を組織し、議論を進める。

4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

- ・ 正会員の優れた著作で 2017 年度もしくは 2018 年度に発表された単独著作を対象として学会賞を授与する。
- ・ 『日本図書館情報学会誌』第 64 巻第 2 号から第 65 巻第 1 号までに掲載された論文を対象として論文賞を授与する。
- ・ 個人会員（若手研究者）の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第 64 巻第 2 号から第 65 巻第 1 号までに掲載されたものを中心に奨励賞を授与する。

(2) 優秀発表奨励賞の選考・授与

2019 年度春季研究集会ならびに第 67 回研究大会において、優れた口頭発表を行った個人会員（若手研究者）に優秀発表奨励賞を授与する。

5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進める。

(2) 国際会議の広報の充実

図書館情報学関連の国際会議情報等を、学会のウェブサイトとメールマガジンに積極的に掲載するとともに会員からの情報を募集する。

(3) 学会国際化のための条件整備

海外からの後援申込の書式英語版整備をすすめる。また学会国際化の方向性、国際的研究活動の支援の方法について検討する。

第四号議案 2019 年度予算案

(収入の部)

項目	予算(円)	2018 決算額	備考
1 会費			
正会員	5,988,000	3,320,500	現会員 676 人×8,000 円+1 年未納分 66 件×5,000 円+2 年未納分 25 件×5,000 円×2
学生会員	126,000	114,000	現会員 54 人×2,000 円+1 年未納分 9 件×2,000 円
団体会員	630,000	630,000	現会員 42 機関×15,000 円
賛助会員	100,000	100,000	現会員 2 機関×50,000 円
(入会金)	-	36,000	
2 広告料	307,000	307,000	30,000 円×3 件, 25,000 円×5 件, 23,000 円×4 件
3 学会誌売上金	1,514,100	1,514,100	定期購読 12,000 円×0.7×104 セット ト 873,600 個別購読 3,000 円×0.7×305 部 640,500
4 印税	318,000	298,108	わかる！図書館情報学シリーズ第 1 巻 9,000

			1,800 円×50 部×0.1 わかる！図書館情報学シリーズ第2巻	
			1,800 円×50 部×0.1	9,000
			わかる！図書館情報学シリーズ第3巻	
			1,800 円×100 部×0.1	18,000
			わかる！図書館情報学シリーズ第4巻	
			1,800 円×100 部×0.1	18,000
			わかる！図書館情報学シリーズ第5巻	
			1,800 円×800 部×0.1	144,000
			『図書館情報学用語辞典第4版』	120,000
5 春季研究集会収入	283,600	356,000	正 2,000 円×120 人+学 1,000 円× 10 人, 発表論文集収入:2,000 円×5 冊, 発表論文集後日発送分 2,360 円 ×10 冊	283,600
6 雑収入	2,011	71,758	利息	11
			日当過払い返金	2,000
7 前年度繰越金	4,525,287	4,260,978		
合計	13,793,998	11,008,444		

(支出の部)

項目	予算(円)	2018 決算額	備考
1 運営事業費			
理事会・常任理事会	1,097,560	528,480	交通費： 理事会 245,520 円(15 人分)×2 回 491,040
開催費			交通費： 常任理事会 50,420 円(4 人分)×6 回 302,520
			会議費 0
			宿泊費： 常任理事会 12,000 円(1 人分)×6 回 72,000
			宿泊費： 理事 12,000 円(1 人分)×2 回 24,000
			日当： 理事会 2,000 円×24 人×2 回 96,000
			日当： 常任理事会 2,000 円×8 人×6 回 96,000
			日当： 常任理事会(2020 年度から の新任)2,000 円×8 人×1 回 16,000
監査実施費	61,980	36,500	交通費： 53,980 円(3 人分)×1 回 53,980
			日当： 2,000 円×4 人×1 回 8,000

委員会開催費				
研究委員会	104,420	93,570	交通費：31,460円(3人分)×2回 日当：2,000円×10人×2回 通信費	62,920 40,000 1,500
編集委員会	176,460	117,744	交通費：84,460円(5人分)×1回 日当：2,000円×8人×1回 通信費 宿泊費 会議費 消耗品費 非会員査読謝礼 7,000円×4人	84,460 16,000 6,000 12,000 0 30,000 28,000
学会賞選考委員会	41,000	22,000	交通費：3,000円(1人分)×1回 日当：(2,000円×3人×2回)+ (2,000円×4人×2回)計4回分 消耗品費	3,000 28,000 10,000
総務委員会	72,700	9,051	交通費：(700円×1人+23,200 円×1人+28,800円×1人)×1回 日当：(2,000円×5人)×1回 会議費 サーバレンタル・ドメイン維持費	52,700 10,000 0 10,000
図書館情報学教育に 資する事業WG	100,000	36,000	シンポジウム講演謝金, 会場費	100,000
学会国際化事業WG	16,000	8,000	日当：(2,000円×2人)×2回 Webサイト英語版整備ネイティブチ ェック費用	8,000 8,000
用語辞典編集委員会	5,000	117,850	通信費	5,000
『図書館情報学事典』WG	200,000	-	日当, 交通費概算として	200,000
選挙管理運営委員会	106,264	15,590	日当：(2,000円×5名)×4回+ (2,000円×1名)×1回 会議費 交通費：(1,440円×1人+1,040 円×1人+2,280円×1人+1,340 円×1名)×4回, 1,900円×1人 ×1回 消耗品費	42,000 18,300 26,300 2,000

会報発行費	704,000	736,477	通信費	17,664
			印刷費 : No.174,176,177 (55,000 円×3号)+No.175 120,000円	285,000
事務局運営費	1,661,660	1,312,534	業務委託費: 20,000円×4回	80,000
			封筒作成費: 15,000円×2回, 17,600円×1回, 31,400円×1回	79,000
			通信費	260,000
			消耗品費	10,000
			通信費	42,000
			選挙管理運営用ガリレオシステム利 用代金	230,000
			事務局アルバイト交通費 840円(1名)×12回	10,080
			事務局会計補助アルバイト代 *会計処理補助1名(4,800円×12ヶ 月)	57,600
			業務委託費: 株式会社ガリレオ (12ヶ月分)	987,480
			業務委託費: 封筒・文書印刷料	117,000
			業務委託費: 発送手数料	120,000
			業務委託費: 会費徴収手数料 振込手数料	16,000 25,000
感謝状作成費	6,500			
会場校会長挨拶交通費等 (春季研究集会, 研究大会)	30,000			
会場校会長挨拶手土産 (春季研究集会, 研究大会)	6,000			
会場校会長挨拶日当 2,000円× 2回(春季研究集会, 研究大会)	4,000			
備品費	0			
2 研究促進事業費				
研究大会開催費	300,000	100,000	案内発送費	100,000
			事務局支援拠出金	200,000
研究大会シンポジウム 開催費	98,000	41,188	日当 2,000円×6名	12,000
			シンポジウムコーディネーター打ち 合わせ交通費	5,000
			*2,500円(2名分)×1回	

			非会員パネリスト交通費(2人分)	60,000
			非会員パネリスト謝礼(2人分)	20,000
			通信費	1,000
春季研究集会開催費	310,000	481,511	消耗品費	5,000
			印刷費: 発表論文集印刷	140,000
			通信費	5,000
			会議費: 茶菓, 弁当	10,000
			アルバイト代金	150,000
研究助成費	750,000	275,000	研究助成金 2件	600,000
			学生会員研究発表助成費 15,000円×10人	150,000
3 刊行事業費 学会誌発行費	2,450,968	2,264,256	印刷費: 65(2)-66(1)(470,000円 ×4号)	1,880,000
			発送手数料: 40,000円×4回	160,000
			通信費: 66,500円×4回	266,000
			封筒作成費: (角3封筒 2,200部 34,020円/PP封筒 1,300部 9,860円/保管料 年3,888円)	47,768
			J-STAGE 搭載費: 3,240円×30 本	97,200
4 表彰事業費 学会賞等賞金	218,906	267,406	賞金(学会賞:100,000円, 論文 賞・奨励賞:各50,000円)	200,000
賞状作成費			賞状制作費: 6,000円×3件分	18,000
			のし袋代金: 3件分	906
5 予備費	5,319,080	20,000		
合計	13,793,998	6,483,157		

事業および会計に関する意見

2018年度の監査において、薬袋監事より事業および会計に関する意見が寄せられました。理事会で取り扱いを検討した結果、会報に掲載し会員への周知を図ることと致しました。

1. 事業に関する意見

第一に、学会の基本的な活動である研究大会の開催と『日本図書館情報学会誌』の刊行を中心に、役

員の負担を増やさないようにEメールを活用する等の配慮を行いつつ、堅実に学会の運営を進めていること、第二に、会費の改定について、会員に十分説明し、理解を得つつ、慎重に進めたことを評価します。

今後の課題として、次の二点、若年人口減少への対応、研究成果の説明と公開の充実について、検討を要望します。

・若年人口減少への対応

今後は、人口の高齢化と若年人口の減少に伴い、学会活動の縮小が懸念されます。これに対して、学会活動の現状を把握しやすいように、会員数、学会発表数、学会誌掲載論文数等の数値の変化を把握し、会員にわかりやすい形で示しておくことが望まれます。会員数は今年度から過去3年分が議案に記載されています。学会発表数は、前年の発表数が議案に、毎年の発表数が本学会のウェブサイトで公表されています。学会誌掲載論文数も同様に公表することが考えられます。

・研究成果の説明と公開の充実

本学会のウェブサイトは、見やすく、わかりやすく構成されていますが、会員以外の方（マスコミ、行政、図書館情報活動関係者、学生・高校生を含む）が利用する場合を考慮して、学会の活動内容がわかりやすいように配慮することが望まれます。そのためには、会員以外の方のための項目を設けて、次の5点をわかりやすく解説することが望まれます。

①学会の目的の「図書館情報学」には、公共図書館、学校図書館、大学図書館、専門図書館、国立図書館等の各館種の図書館と図書館以外の各種の情報活動が含まれること。

②学会活動の成果は、研究大会・春季研究集会での発表（各『発表論文集』への論文の掲載）と『日本図書館情報学会誌』への論文の投稿・掲載、その他の出版物に示されていること。

③『日本図書館情報学会誌』、研究大会・春季研究集会の各『発表論文集』、その他の出版物は国立国会図書館に納本されており、同館で閲覧できること。

④『学会誌』、各『発表論文集』掲載論文は、国立国会図書館サーチとサイニーで検索できること。

特に、サイニーの「刊行物名」と「出版者」の欄に「日本図書館情報学会」を入力して検索すれば、論文題目等の一覧を見ることができることが重要だと思います。

⑤『日本図書館情報学会誌』等の内容（掲載論文等）は本学会ウェブサイトで公表されていること（J-STAGEへのリンク、最近1年間は会員限定）。

このほか、④と関連して、次の点に対する何らかの対応が望まれます。

⑥2012年度までの『日本図書館情報学会研究大会発表要綱』『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』の内容は国立国会図書館サーチ等に収録されていないため、検索することができません。学会員の研究成果が十分活用されないおそれがあります。これらを検索できるように、本学会ウェブサイトで、掲載論文のリストや発表プログラムを公開し、図書館情報学関係論文の検索ツールに加えることが考えられます。

2. 会計に関する意見

書類、帳簿、帳票の整理が的確かつ丁寧に行われています。特に、領収書等の書式が統一されて見やすくなっている点が効果的です。

監事 葉袋秀樹

第 67 回 研究大会のご案内

研究委員会／第 67 回 研究大会事務局

第 67 回 日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。

開催要領

日 程： 2019 年 10 月 19 日（土）、20 日（日）

会 場： 龍谷大学 大宮キャンパス 東麓（とうこう）

事務局： 〒612-8577

京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学 紫英館 330

柳勝文研究室 日本図書館情報学会第 67 回研究大会事務局

Tel：075-645-8444（研究室直通）

E-Mail: jslis@let.ryukoku.ac.jp

参加費（予定）： 正会員 4,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 6,000 円

懇親会費（予定）： 4,000 円

宿泊案内

研究大会事務局では宿舎の斡旋はいたしませんので、ご了承ください。

秋の観光シーズンのため列車や宿泊場所の手配は、早めにされることをお勧めいたします。

プログラム（予定）

10 月 19 日 （土）		10 月 20 日 （日）	
12:30-13:00	受付	9:00-9:30	受付
13:00-13:15	開会式	9:30-11:30	研究発表（口頭）
13:30-17:00	研究発表	11:30-13:00	研究発表（ポスター），昼食
17:30-19:30	懇親会	13:05-14:05	会員集会，学会賞等授与式
		14:15-16:55	シンポジウム
		16:55-17:05	閉会式

- ・ 大会 2 日目の昼に「ポスター発表」を実施します。発表申込と当日の参加をお願いいたします。
- ・ 大会 2 日目の午後には「会員集会」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。
- ・ 大会 2 日目のシンポジウムについては、「デジタルアーカイブと図書館」をテーマとして開催予定です。シンポジウムは一般公開といたしますので、研究大会参加者以外の方でも無料で参加することができます。

■ 発表募集要領

- (1) 応募条件：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、第一発表者が正会員または学生会員であること）

研究発表の申込は、申込時点で既に正会員・学生会員である者に限ります。申込時点で入会が承認されていない場合は、研究発表の申込はできません。発表を希望する方で、未入会の方は、発表

申込締切前の入会申込締切日となる7月20日(土)までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に、発表の申込をしてください。

(2) 発表形態と発表時間

① 口頭発表：1件30分(発表時間20分、質疑応答10分)

② ポスター発表：1セッション90分。このうち、発表者は指定された30分間、ポスター付近に立ち発表内容を適宜説明する必要があります。

注意：第一発表者として口頭発表1回、ポスター発表1回申し込むことができます。ただし口頭発表1回、ポスター発表1回を同じ内容とすることはできません。発表形態は、申込時に発表申込申請フォームで「口頭発表希望」か「ポスター発表希望」にチェックを入れてください。口頭発表とポスター発表を各1回申し込む場合は、それぞれに申請してください。

(3) 発表言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、発表申込、発表論文作成、発表、発表概要提出まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

(4) 申込方法：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上、申し込んでください。なお、受理された申込書はウェブサイトで公開する予定です。

(5) 申込締切：2019年8月19日(月)24時必着

申込直後に申込を受け付けた旨のメールを送付します(受理の連絡は別途、メールにて通知します)。申し込んだにもかかわらずメールが届かない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会(kenkyu@jslis.jp)まで連絡してください。

(6) 発表論文の提出：発表申込が受理された場合には、A4判で口頭発表は4枚、ポスター発表は2枚の発表論文を作成し、2019年9月19日(木)までに原稿を研究委員会ウェブサイトを送っていただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては、発表申込受理者に連絡します。

(7) 発表のための機材と資料等

① 口頭発表：パソコンによるディスプレイ(PowerPoint)装置が使用できます。その他の機材をご要望の場合には、研究委員会(kenkyu@jslis.jp)まで問い合わせてください。当日の資料配布は、原則として認めていません。詳しくは、「研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」をご確認ください。

② ポスター発表：ポスターのサイズはA0縦です。資料配布は自由です。ノートパソコン等によるデモンストレーションが可能です。電源は利用できません。パソコンを置くための台を希望する場合は、申込時に発表申込申請フォームの備考欄に「ポスター発表用PC台希望」と記入してください。

(8) 優秀発表奨励賞

対象は口頭発表を行った若手研究者(目安として研究歴10年以内)とします。授与のための審査を希望する者は、自己申告(発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希望」にチェック)してください。発表内容、発表技法の観点から、優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果、優れた口頭発表を行い、将来の活躍が期待される若手研究者(正会員、学生会員)に授与します。受賞者は、学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表されます。

(9) 交通費等一部補助

以下の要領で発表を行うための費用補助を行います。希望される方は申請してください。

① **対象者**：第一発表者として研究発表（口頭、ポスター）を行う学生会員

② **人数**：希望者全員

③ **申請基準**

自宅または通学する大学の最寄駅のうち研究集会開催校の最寄駅に近い方を起点として、研究集会開催校の最寄駅まで片道 300km 以上であること。

④ **申請方法**

学会発表申請システムの「研究集会参加のための交通費一部補助希望」欄にチェックを入れ、自宅または通学する学校の最寄駅のうち、研究集会開催校の最寄駅に近い方を申告する。

⑤ **補助額**：一律 15,000 円

⑥ **支給時期と方法**

研究集会で研究発表を確認後、1 週間以内に事務局から振り込む。なお、支給した者に振込確認後、受領書の提出を求める。

⑦ **補助に際してのルール**

1) 申請は単年度あたり 1 人 1 回に限る。

2) 研究発表を取りやめた場合は支給しない。

3) 本制度で賄えない残りの交通費等を補うために、併せて他機関から補助を受けることを認める。

■ 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表申込をしてください。

(1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において発表の権利をもつ。

(2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。

(3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において第一発表者（＝発表論文の第一著者）として口頭発表 1 回、ポスター発表 1 回申し込むことができる。

(4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。

(5) 口頭発表の登壇者は、原則として発表論文の第一著者とする。

(6) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。

(7) 発表者は発表申込申請フォームから発表論文をアップロードする際、本学会が教育・研究の目的で発表論文を印刷物およびウェブ等の電子メディアで使用することを許諾するものとする。

(8) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は、発表を取り下げたものとみなす。

(9) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表スケジュール)の変更は原則として認めない。

(10) 発表当日の資料配布は、原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は、発表当日の 1 週間前までに研究委員会宛に、資料に配布の理由を添えて申請し、許諾を得る。資料配布が認められた場合は、印刷・配布・残部回収は発表者自身で責任をもって行う。ただしポスター発表においては、資料配布は自由とする。

■ 発表者への諸注意

口頭発表者

(1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。

(2) 会場の備え付けの発表用 PC に発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に

進行するため、発表者は会場前方に着席してください。

- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けのPCでの発表としています。持ち込みPCの利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に＜PCのつなぎかえの希望＞について、必ず明記して下さい。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込みPCのつなぎかえはできません。

ポスター発表者

- (1) ポスターは、セッションの始まる10分前までに掲示してください。指定した時間までにポスターを貼付できない場合は、発表を辞退したものと見なします。
- (2) 掲示するための用品は事務局が用意したものを使用してください。
- (3) セッション終了後、閉会式までに掲示を撤去してください。
- (4) セッション中、発表者は、指定された時間帯にポスターの前に立ち、参加者に研究内容の説明ならびに質問への回答を行ってください。

2019年度 研究助成の決定

2019年度の研究助成について8件の応募があり、研究委員会にて審議いたしました。

審査は、例年の手順・方法を踏襲し、あらかじめ定めた評価基準に従って研究委員が採点した結果を総合して、助成対象を決定することにしました。評価は、申請者が特定されないよう、氏名等個人が特定される情報を伏せて、申請者名を知りうる立場にある研究委員を外して行いました。評価基準は科学研究費に準拠して、(1) 研究目的の明確さ、(2) 研究の独創性、(3) 遂行可能性、(4) 成果の公表可能性、(5) 申請金額の妥当性、(6) 研究組織の適切性、の6点を参考に、5段階で総合点をつけ、総合点の平均が3点以上を助成の最低基準としたうえで、議論の結果、下記の2件を助成対象としました。

(研究委員会)

研究代表者：韓 尚珉（東京大学大学院教育学研究科）

研究題目：日本語ウェブ文書に対する非母語話者の読み理解を促すドキュメント・デザインに関する研究

助成額：270,000円

研究代表者：鈴木 一生（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）

研究題目：地方財政構造の変化に適応した公共図書館政策：米国州政府による図書館区設立の促進とその思想・理論的背景

助成額：300,000円

役員会等の記録

2019年度第1回常任理事会（開催記録）

日時：2019年4月21日（日）13:00～19:00

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー19階共同実習室2

出席者（敬称略）：小田、倉田、青柳、浅石（記録）、今井、岩崎、荻原、三浦

欠席者：なし

議事内容：

1. 2019年度第1回理事会の議題整理
2. 2018年度事業報告
3. 2018年度決算報告
4. 2019年度事業計画案
5. 2019年度予算案
6. 役員選挙について
7. その他

2019年度第1回理事会（議事抄録）

日時：2019年5月12日(日)13:00～15:30

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー19階 共同実習室2

出席者（敬称略）：小田，倉田，青柳，安形麻理，浅石(記録)，池谷，石田，泉山，今井，岩崎，
荻原，河西，高久，松林，松本，三浦，山本，吉田

欠席者：安形輝，岸田，佐藤，高山，田窪(以上，議決委任)

列席者：葉袋(監事)

<報告事項>

1. 会費改定に伴う会員状況

2018年度会勢について，資料に基づき今井事務局長から報告された。

2. 各委員会からの活動報告

資料に基づき，各委員会から今年度の活動が報告された。

3. 優秀発表奨励賞について

小田会長より，優秀発表奨励賞(前・優秀発表賞)の授賞者が3年間出ていないことについて，理事の1名から状況説明を求める声があったことが報告された。青柳研究委員長から，授賞者が出ていない状況に鑑みて，研究委員会内では優秀発表奨励賞の選考基準を再検討していることが報告された。

4. 次期役員への引き継ぎ

小田会長より，2019年度末で今期役員の任期が満了となるため，年度末には次期役員への引き継ぎを予定していることが報告された。また次回の理事会に向けて，現在の学会の課題や今後の発展に向けた方策を整理して頂くよう各理事へ依頼がなされた。

<協議事項>

はじめに小田会長より，昨年度まで監査報告は会計報告に対してのみであったが，監事より事業報告も監査報告に含めるべきという意見があったことを踏まえて，今年度は「事業報告・監査報告」「会計報告・監査報告」という議案としたことが報告された。

1. 2018年度事業報告・監査報告

小田会長より，資料に基づいて2017年度の事業報告の説明があり，審議を行ない，これを承認した。また事業報告に対して，葉袋監事より「学会活動が適切に運営され，活動計画が適切に行われている」という監査報告がなされた。葉袋監事より「事業に関する意見」が報告さ

れた。

2. 2018年度会計報告・監査報告

今井事務局長より、資料に基づいて2018年度の決算報告の説明があり、審議を行なった。薬袋監事から、会計監査に関して、証憑の整理、帳簿の記帳などの会計処理が適正に行われていた旨の報告があった。

3. 2019年度事業計画案

小田会長より、資料に基づいて2019年度事業計画案の説明があり、審議を行なった。一部の項目に修正を加えた上で、原案を承認した。

4. 2019年度予算案

今井事務局長より、資料に基づく説明があり、審議を行なった。一部の項目の内訳に修正を加えた上で、原案を承認した。

5. 事務局規程の改正について

今井事務局長より、事務局規程の改正案が報告された。議論の結果、常任会議で持ち帰り、次回の理事会で改めて議論することになった。

6. 役員選挙の実施方法

浅石総務委員長より、2020-22年度の役員選挙の変更点について、経緯と共に説明され、2020-22年度の役員選挙は、選挙管理運営委員会から提案された方法で行うことが確認された。

委員会・事務局より

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」、「執筆要綱」、「『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。

(編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2018年7月8日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/09/c_reg_180708.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016年10月8日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2016年10月8日改訂
http://old.jslis.jp/journal/JSLIS_review_rule161008.pdf

視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』のPDF版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

(編集委員会)

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (somu@jslis.jp) にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDFの添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。

(総務委員会)

2019年度の会費納入のお願い

2019年度の会費払込用紙は6月号の学会誌に封入されておりますので、そちらを利用して支払をお願いいたします。また下記の通り、クレジットカードでの支払いも可能となりましたので、ご利用下さい。なお、2018年度までの会費を未納の場合は、2019年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員(学生会員は2年)については、その年度末(3月31日)に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。

また、学生会員で正会員へ変更となった方については、判明後すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から8,000円に変わります。ただし事務作業の軽減のため、切り替えについては、毎年4月21日以降の申し出については特段の理由のない限り、全て次年度からの切り替えとなります。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

学会費のクレジットカードによる支払いができるようになりました。下記のサイトからログインの上、決済が行えます。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム(SOLTI)から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページ(<http://jslis.jp/membership/application/>)に掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局(office@jslis.jp)までメールでお送りください。また会員種別の変更については、当該年度の4月20日までに申し出がない場合、その年度の会員種別の変更はできません。なお、翌年度から会員種別変更が見込まれる場合、前年度からも受付を行っております。学会発表時の所属や会費請求とも連動しておりますので、判明次第速やかにお願いたします。

ガリレオの会員情報管理システム(SOLTI)のIDとパスワードは2017年4月もしくは入会時に配布しております。上記のシステムによる会員情報変更が必要となります。今後、上記システムを用いた情報発信を行う可能性がありますので、IDとパスワードがご不明な方は、事務局までメールでご連絡ください。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局(office@jslis.jp)までご連絡ください。毎年3月20日までに申請のあった場合、当該年度末での退会となり、それ以降はすべて翌年度末での退会となり、会費が発生しますのでご注意下さい。

(事務局)

学会受領資料

会員のみなさまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（白百合女子大学 今井福司研究室内宛）まで 1 部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。